

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 総合福祉センター整備事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称					
章	9						
節	9						
施策	9						
小分類	9						
主要な施策	9						
事務事業番号	158	事務事業コード	99999158	事業開始年度	平成 2 1 年度	事業終了年度	平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	総合福祉センター整備事業
------	------	------------	--------------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 登別市総合福祉センター
手 段 (事 業 の 内 容 ・ 活 動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 総合福祉センターは建築年数の経過に伴い建物全体のかなりの部分で老朽化しており、このままの状態を放置すると、近い将来、施設を利用する各種事業に支障を来す事が考えられるため、その対策を講じる必要がある。 H21 屋上シート防水工事(地域活性化・生活対策臨時交付金) 20,055千円 (地域活性化・生活対策臨時交付金 8,074、市債 681、一般財源 11,300) H22 玄関屋根底等改修工事(経済対策事業) 476千円 (地方債 350、一般財源 126)
目 指 す 姿 (成 果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 施設延命の工事を実施することで、施設を利用する各種事業に支障がでないようにする。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標			屋上防水表層補修工事	件	目標値	1	1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称 地域活性化・生活対策臨時交付金	千円	8,074	0				0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円		3,500	8,200			8,200
	その他	名称 市債	千円	681					0
	一般財源	名称	千円	11,300	1,260	2,800			2,800
合 計				20,055	4,760	11,000	0	0	11,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	10	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		10	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市が管理する公共施設である以上、事業主体として妥当
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 施設を利用する各種事業に支障が出ないように未然に対策を講じる事ができた。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 施設を利用する各種事業に支障が出ないように未然に対策を講じる事により、事業中断等の被害を防止し、各種事業の継続が可能。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 経年による施設の劣化から発生する補修工事のため、予測がつかない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	施設を利用する各種事業に支障が出ないように未然に対策を講じる必要がある。
-----------	----------------------	--------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）